



地域のオアシス 「河童の森」づくり

地域団体との協働 みどりと川の再生



NPO
法人

都市づくり
NPOさいたま
(さいたま市緑区)

地域
団体

こうぬま・
水と緑を楽しむ会
(さいたま市緑区)

都市づくりを専門とするNPO法人と市民団体、地元の自治会が、JR東日本やさいたま市を巻き込んで、300年の歴史を持つ高沼用水の「水と緑」を残すために、地域のオアシス「河童の森」を整備した。

協働のきっかけ

市民団体が、地元の子どもたちを「河童探検隊」として高沼用水で遊ばせたことが発端となり、NPO法人に公園づくりの協力を依頼したことから協働が始まった。

ここでは、東北新幹線建設の際に環境整備空間として設けられた空間で、この空間と用水路を一体整備して「河童の森」ができ上がり、子どもたちが生き生きと遊べる場所が確保されるようになった。

協働のメリット

NPO
法人

このプロジェクトを手がけた実績が評価され、さいたま市の「高沼用水路整備基本計画」構想業務を受託した。

これまで築いた地元との関係を生かし、計画に反映させたい。



丸太橋

地域
団体

高沼用水を整備し、公園にするためには、建築・設計・植樹など幅広い都市づくりの専門知識が必要だったためNPO法人の協力を得られたことは、大きなメリットとなった。

苦労・工夫したこと

NPO
法人

計画作りに際して、市民団体と十分な打合せを行うことと、地元の要望を吸い上げることに苦労した。

地域
団体

当初は市民団体による活動であったため、行政やJR東日本との折衝に苦労した。しかし、NPO法人が専門家として折衝を受け持ってくれたため、計画の実現にこぎつけることができた。

キーワード

河川浄化